

2024年8月8日

和歌山県知事 岸本 周平 様

紀の川河川敷への米軍ヘリコプターの予防着陸についての申し入れ



日本共産党和歌山県議会議員 奥村 規子
日本共産党橋本市議会議員 阪本 久代
高本 勝次

7月28日午前8時40分頃、米陸軍第2戦闘航空旅団(在韓米軍)所属のCH-47ヘリ2機とUH-60ヘリ1機が、日米合同演習のあと三重県から西の方に移動するため、和歌山県橋本市内を飛行ルートに選び、飛来したようです。そのうち、CH-47ヘリの1機の機内で警告灯が点灯したため、上空で旋回した後に橋本市内の河川敷(橋本市役所の南)に予防着陸しました。この事件に対し、近隣の市民は爆音に驚くとともに身の危険を強く感じました。

岸田政権は、5年間の防衛費を43兆円にも増額し、5兆円だった防衛費は8兆円を超えるようになり、さまざまな兵器の大量購入とともに、自衛隊基地の司令部の地下化や米軍との間の合同演習が盛んに行われるようになっていきます。合同演習の中には日米韓が一体になった演習も含まれています。

私たちは、このような状況下で今回の事件が発生したと考えています。橋本市民ひいては県民の生命を脅かす重大なできごとです。したがって、今回の事件がどうして発生したのか。今後の安全対策はどうなるのかを含め、以下の点について申し入れを行うものです。

- 1、米軍機が市街地上空を飛行しないよう求めること。
- 2、米軍機の飛行ルートについて、自治体に通知する必要がないのであれば、その法的根拠を示していただきたい。
- 3、なぜ在韓米軍機が和歌山県の上空に飛来したのか。飛行ルートも含め、基本的な情報を明らかにしていただきたい。
- 4、予防着陸に至った原因及び離陸の判断と安全確保の状況を明らかにしていただきたい。
- 5、今後、このような事件が起こったときの関係自治体への情報提供及び具体的な連携の在り方を明らかにしていただきたい。
- 6、8月3日には神奈川県海老名市社家の田んぼに米海軍ヘリが不時着している。米軍の安全管理、危機管理、再発防止対策を明らかにしていただきたい。

以上